



さん・産・フェスタ 2013



当別町商工会、JA 北いしかりが実行委員会となって「さん・産・フェスタ 2013」が当別駅前大通で開催され、1,200 人が参加しました。激しい降雨により、一時中断するハプニングもありましたが、農産物販売、飲食コーナー、保育所・幼稚園児による綱引き、豊穰祈願の餅まき大会、当別音頭、牛鬼の練り歩きなどが行われ、会場内が盛り上がりました。

(8月24日)

イモと枝豆詰め放題



東裏地区の体験農村公園で、今年も「ひがしうら里の収穫祭」が開催され、町内外から約 500 名が参加しました。

収穫祭では、ジャガイモか枝豆を 500 円の袋に詰め放題。参加者は、どちらを選ぶか悩みながらも、楽しそうに収穫していました。

札幌市から初めて参加した方からは、「当別の野菜は美味しいので、今日の収穫祭を楽しみにしていました。今夜の晩御飯が楽しみです。これからも続けて欲しいイベントですね。」と期待を込めて話していました。

(9月8日)

アイデアいっぱい



当別町・新篠津村の小中学生が夏休み期間中に取り組んだ自由研究や工作などを展示した「当別・新篠津創意工夫展」がふれあい倉庫で開催されました。

会場には子どもらしいアイデアと工夫が施された作品 112 点を展示。カップ麺の容器と懐中電灯で作成したプラネタリウムや、段ボールで作られたギター、ふくろうの切り絵など大人顔負けの力作揃いでした。

来場者は、身近にある物で作品を作り上げる子ども達の才能に驚きの表情を見せていました。

(9月12日)

広告

広告

広告

広告

描きはじめ 14年



油彩・水彩・絵手紙を指導している中川久雄絵画塾の油彩コース5年以上の塾生による初の作品展「板谷ヒサと仲間たち展」がふれあい倉庫で開催され、塾生10名の作品が展示されました。

タイトルにもなった塾生の板谷さんは70歳から絵を描き始め、今年で14年目を迎えました。これまでに描いてきた絵は約40点。板谷さんは、「絵を描くことが生きがいです。生涯、元気なうちは自分のペースで書き続けていきたいと思います。」と、照れながらも笑顔で話していました。

(9月12日)

16回目の演奏会



当別町で活動している社会人吹奏楽団の当別アンサンブルファミリー(鰐淵真太郎団長)の第16回定期演奏会が白樺コミュニティセンターで開催され、会場には200人が訪れ、美しい音楽の音色に耳を傾けていました。

今回は2部構成で演奏会が行われ、第2部はディズニー音楽が特集されました。演奏者がそれぞれ立ち上がってリズムカルな演奏をしたり、指揮者が魔法使いの衣装で登場するなど、工夫を凝らした演出に会場からたくさんの拍手が送られていました。

(9月15日)



広告

広告

広告

広告